

## 癌化学療法輸液約束処方 消肝1

癌種                    肝臓癌  
レジメン名            Rmab

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
サイラムザ	ラムシルマブ	Rmab	8mg/kg	div	60分	DAY1、15	28日間

[DAY1,15]

- ① NS 50ml + ポララミン 1A / 15分
- ② NS 50ml / 15分
- ③ NS 250ml + サイラムザ            mg / 60分 ☆フィルター使用
- ④ NS 100ml / 10分

〈備考〉

- ①ネクサバル、レンビマ使用後の3次治療として使用 血清AFP値400ng/ml以上の患者に適応
- ②G1～2のinfusion reaction発現時は、アセトアミノフェン、デキサメタゾン、H1ブロッカーなどの前投薬を強化する。
- ③手術予定の場合または創傷治癒してない場合は投与中断する。術後28日以内、CVポート留置7日以内は慎重投与。

〈休薬基準〉

尿蛋白3+ Grade3以上または症候性のGrade2の高血圧  
その他の有害事象(高血圧、静脈血栓事象、尿蛋白を除く) Grade2以上

〈減量基準〉

1日尿蛋白量2g以上 初回発現時6mg/kg 2回目以降発現時5mg/kg

〈投与中止〉

動・静脈血栓塞栓症、G3～4のinfusion reaction, 消化管穿孔、G3or4の高血圧、うっ血性心不全、コントロール不能な高血圧  
可逆性後白質脳症症候群(痙攣、頭痛、錯乱、視覚障害等)、3g以上/日の蛋白尿またはネフローゼ症候群

R2.4.30作成